第92号
昭和39年(1954)
8月10日発行

発行人 栃尾市
新潟県栃尾市
電話(代表)2151番

広報とちお

昭和32年2月20日第三種郵便物認可 毎月10日発行(定価一部2円)

栃尾市の人口
(7月末日現在)
世帯 7,567
男 17,885人
女 19,314人
計 37,199人

今月の市税
▷市県民税 第2期分
▷軽自動車税 随時分
▷国民健康保険税 8月分
納期 8月31日

九月十五日現在で基本選挙人名簿作製

資格調査票の記入は確実に

基本選挙人名簿は、毎年九月十五日現在で選挙権のある人を調査して新しく作り替えます。この調査は、ことし新しく書き替えた「選挙人名簿登録資格調査票」を区長(班長)さんから皆さんの世帯ごとに確認していただき、それをもとにして名簿を作りますが、調査票は住民登録簿を基にして記入してありますが、調査票記入後の異動があると思われますので、内容をよくお確めのうえ、世帯内の住所のある人について住所の異動や死亡者等がありましたら消し資格のある人で記入洩れがあつたら書きたして、それぞれの理由を記載してください。

最近は、市民の住所の異動がはげしく、住民登録の届出をなさらぬかたもあつて、住民登録簿だけによつて選挙人名簿を作ることはむずかしいので、この調査票によつて選挙人を調べるわけです。

住民登録をしてあるからとか、今まで名簿に登録されてあるからとお考えなさらずに調査票に記入のあるなしを確めてください。

なお、ことしの選挙人名簿に登録される資格のある人は次のとおりです。

△昭和十九年十二月二十一日以前に生れた人(十二月二十日現在で満二十年以上の人)

△ことしの六月十五日以前から引きつづいて栃尾市内に住所のある人(九月十五日現在で三ヵ月以上市内に住所を有する人)

△九月十五日現在選挙権を停止中でない人

なお、会社、工場その他勤務先に住込で勤務する人は、二重登録や登録洩れのないよう実家の住所、世帯主名を記入してください。

来年は市長、参議院議員及び県知事の選挙が予定され、これらの選挙はこの名簿を用い、この名簿に登録されない人は、選挙の直前に作る補充選挙人名簿に登録申請していただくほかは選挙人名簿に登録される方法がありませんから注意してください。

農委会長に 大橋氏再任

栃尾市農業委員会総会が、さる七月二十九日織物組合で開催されました。

委員会の申し合せにより委員長、副委員長の任期は一年とされており選まう委員をあげて選とうの結果、次のとおり決定いたしました。

会長 大橋 正賢
副会長 丸山 保雄
県農業会議第一号会議員 大橋 正賢

八月十五日正午 全市民黙とうを

全国戦没者追悼式

今次の大戦における全戦没者に対し、国をあげて追悼の誠をささげるため、八月十五日天皇皇后両陛下のご臨席をあおぎ追悼式が東京で行なわれます。

この日には官庁公共団体等は半旗を掲げていただき、また正午には全市民一せいに黙とうをささげていただくようお願いいたします。

夏の交通事故防止

よっぱらい運転をなくそう!!

八月は、暑いため毎年交通事故の発生率は年間のトップです。昨年の八月は、県下で七九五件発生し、二五名が死亡七〇六名がけがをしています。栃尾市では、一八件の事故が発生していますが、ことしこそ一件の事故もなく八月を過したいものです。

県下の昨年八月の事故のうち、よっぱらい運転によるものが、七八件で死亡した者が四名、けがをした人は七六名にものぼっています。

このよっぱらい運転は、無免許、スピード違反と同じように交通の三悪で社会の敵です。みんなで力を合わせてよっぱらい運転を追放しましょう。それにはまず次のことに注意しましょう。

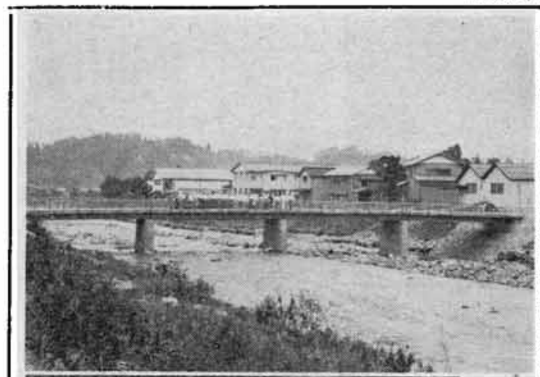
▽一般家庭では
運転まえの人や、運転してきた人に、一杯くらいよいだろうといつて酒をだすことは絶対やめましょう。また「お茶がわりに」などとすすめることは、その人に事故を起すことをすすめているようなものですからつつしみましょう

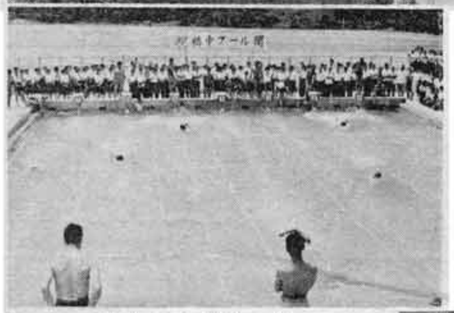
▽酒屋、料理店では
車を運転してきた人に酒などを提供することは、悲惨な事故を起すよう仕向けているようなものです。酒などを遠慮してもらうのが、親切な情味のある近代営業でありましょう。

▽職場では
上り酒、振舞酒、暑気払いなどいろいろな意味で酒を飲む機会がありますが、車を運転して帰る人は、絶対に飲むことはやめましょう。また、飲んだら車を運転しないこと

▽雇用主、車両管理者
使用人の飲酒運転や車を無断持ち出されないよう車両管理を厳重にしましょう。特にバイク等かんたんに持ち出されるから注意してください。

(栃尾警察署)





〔写真上は、完成した出雲橋、下は栃尾中学校のプール開き〕

出雲橋(永久橋)など完成

仲子町から金沢部落に通ずる出雲橋が完成しました。

この出雲橋は、三十九年四月二日株式会社小林組により着工、さる七月十五日完工したもので全長五二メートル十センチ、有効巾員四メートル五十センチの永久橋で、工費は八二〇万円でした。

栃中プールも完成

栃尾中学校のプール開きが、さる二十三日行なわれました。

このプールは全長二五メートル、巾一五メートル、七コースで、さる五月十五日共栄土建株式会社により着工、浄化装置、滅菌装置などの附帯工事は日本容器株式会社(長岡市)が請負いこのほど完成したもので、工費は(附帯工事とも)七〇四万円でした。

なお、コースロープ、照明設備一式は日本容器株式会社からいただいたものです。

国民年金法改正

結核・精神病等に年金支給

国民年金法の一部が改正されましたのでそのあらましをお知らせいたします。

いままで障害(福祉)年金の支給対象は、からだの不自由なかたや、目、耳などのいわゆる外部障害のみであつて結核や結核によらない呼吸器の疾患や精神病に基づく障害などのいわゆる内部障害については支給対象外となつておりましたが、このたびの改正によりこれらの障害についても障害年金が貰えるようになりました。また、福祉年金受給者の所得制限が緩和されたことと、公務扶助料などの受給者にも再び老令福祉年金が支給されるようになりました。

この改正によりかなり国民年金の内容も充実をみたわけです。

内部障害については初診日および国民年金の加入者かどうかで、やや複雑な要件がありますから一人決めはなさらずに気軽に係に相談してください。

△内部障害の範囲と障害の程度、一級の場合

①結核性疾患による身体の機能障害で日常生活の用を弁ずることができない程度のもの

②結核性疾患により長期にわたり安静を必要とする病状で日常生活の用を弁ずることができない程度のもの(廃疾認定日前六カ月以内に排菌があり、かつ胸部X線所見が日本結核病学会病型分類のⅠ型またはⅡ型で、病巣の拡がりが1(小)2(中)または3(大)であるもの。または、廃疾認定日前六カ月以内に排菌があり、かつ胸部X線所見が学会分類のⅢ型で病巣の拡がりが3(大)であるほか、「結核の治療指針」に掲載されている安静度表の安静度が一度ないし二度のもの)

③非結核性疾患による呼吸器の機能障害で日常生活の用を弁ずることができない程度のもの

④精神の障害(精神病質、神経病および精神薄弱によるものを除く)であつて、内部障害の一級程度および前記①ないし③の程度以上のものであり、その傷病名は次のとおりです。

精神分裂病、そううつ病、非定型精神病、てんかん、中毒精神病、器質精神病

△廃疾認定日の改正

内部障害を取り入れたことにより、障害または病状の原因となつた疾患の初診日から起算して三年を経過した日を原則として廃疾認定日としました。したがつて、症状が固定しない場合でも、三年を経過すれば、その日をもつて廃疾認定日とみなされます。

△拠出年金関係

障害年金に内部障害を加えたため、母子、準母子および遺児年金にも廃疾の状態にある二十才未満の子女を加えました。いずれも障害の程度が一級または二級でなければなりません。

△福祉年金関係

①障害福祉年金に内部障害を取り入れ、母子および準母子福祉年金に廃疾の状態にある二十才未満の子女を加えました。障害の程度が一級でなければなりません。

②福祉年金受給者本人の前年の所得が十八万円以上であると支給を停止されていましたが、こんどの改正により制限額が二十万円に引き上げられました。

③これまで公務扶助料等の戦争公務による公的年金を七万円以上支給されていると福祉年金は支給停止されていましたが、こんど八万円に引き上げられ、ことし一月分にさかのぼり支給されることになりました。

△施行期日等

八月一日から施行し、九月分から内部障害等による年金が支給されます。

△請求等の手続き

①結核および呼吸器疾患の場合は、請求手続きに入る前に治療を受けた病院に相談してください。

②精神病の場合は、住民票のある市町村で保護者が市町村役場でご相談してください。

なお、参考までに障害年金等の額は、障害年金一級三万円、二級二万四千円、障害福祉年金二万一千六百円です。

(厚生課)

災害復旧資金を貸付け

国民金融公庫では、次により災害復旧特別貸付を行ないますので希望者はお申込みください。

①貸付金額 二百万円以下
②貸付期間 設備資金五年以内、運転資金三年以内
③貸付利率 日歩二銭四厘六毛(月利七厘五毛)
④取扱機関 国民金融公庫代理店、取扱店及び公庫支所
⑤申込受付期間 八月一日から九月十日まで
⑥その他、貸付を受けようとするかたは市で発行する罹災証明書が必要です。

お知らせ

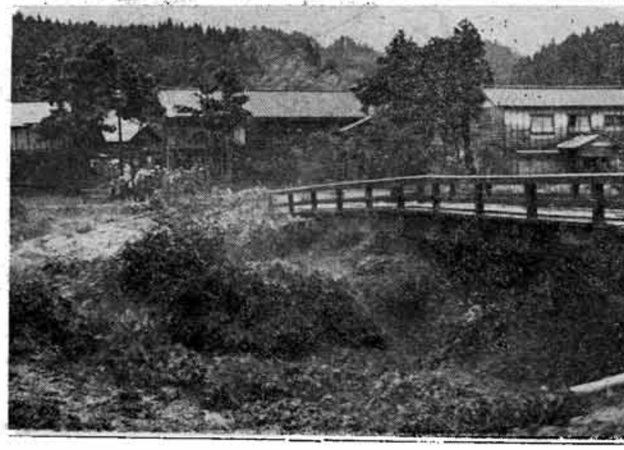
毎月の市日は、午後五時チャイムを合図に閉店することになりました。これは、環境衛生のたちばから閉店後の清掃消毒を完全に行ない明るい市場とするためですからご協力を願います。

おわび

前号の新潟地震災害地見舞金の中で「丸倉織物工場楽和会」からとありましたが「倉賀織物工場楽和会」の間違いにつき訂正しおわびいたします

七・七集中豪雨

被害総額二十二億円余



七月七日中越地方をおそつた豪雨は、ものすごい勢いで降り続き、午後四時前後には市内のあらゆる河川が増水し特に主流である刈谷田川、塩谷川、西谷川の流域は、濁流がものすごい勢で荒れ狂い、またたくまに堤防が流され、橋、道路が流され、田畑も流されたものや、土砂が流れ込んだものなどと全く悲惨な姿に変つてしまいました。

荒れ狂つた水魔のツメ跡はことの他大きく深く上塩谷地区では、とうとい人命がうばわれてしまい市内全域で住家四棟も流され、栃堀地内の送水管が流され水道が七日間にわたつて断水するなど近年にない惨事になりました。

しかも連日降り続く雨で道路、堤防などの被害はさらに大きくなり、同時に市内各所に地すべり、土砂くずれがおこり、家屋が倒壊したり、危険なため立のいたものなどで七月十四日現在の被害総額は二十二億円余という驚くべき数字になつたのであります。

激じん法に内定

七・七豪雨による災害により激じん法に指定されるよう陳情しておりましたが、十一日の中央防災会議において激じん法の適用をほぼ内定しました。なお、十四日の閣議で正式に決まる予定です。

(写真上は、すごい勢いについに平橋は流失)

復旧に全力を

栃尾市長 千野勝司

このたびの七・七集中豪雨による被害は、大正十五年の大水害をはるかに越える未曽有の大被害となり、さぞご心痛のことと存じます。災害にまけず、復旧に当りましては、一層の奮起とご協力をお願いする次第であります。被害は、上塩谷において住家とともに一名の尊い人命を失つたなど別記のとおりであり、被害総額は二十数億円に達しました。これらのうち最も緊急を要する上水道施設の復旧および住家に被害をおよぼした堤防の欠壊箇所の締切りのために自衛隊の出動を要請して上水道の断水も一週間で仮復旧することができました。

また、断水中は自衛隊の給水班の出動と小千谷市・村松町・小須戸町・長岡運輸の給水車の応援を得て急場をしのぐことができましたことは、感謝に耐えないところであります。

道路欠壊についても、緊急を要する箇所は、県の指示により復旧工事を進めております。特に橋りようの復旧は、全般的に永久橋への架替えを強く要望するとともに、緊急査定を受け、できる限り年内実施を目標に日夜努力しておりますが一部には未定のものもあろうかと存じますがあしからずご了承ください。

また、河川堤防の復旧については、改修を主体とした復旧を進め、今後このような大惨事の発生のないよう努めたいと存じておりますので、地域関係者の絶大なるご協力を切望いたします。農地および農業用施設についても、早期復旧を期して関係機関に要望しております。

幸い本災害に対しましては、県をはじめ、国においても大きく取りあげ、関係各省の係官が被害状況調査に当つておりますので、復旧に対しては明るい希望を持つておりますし、市といたしましても今後はこの復旧に全力を傾注する覚悟でおります。

市民各位も災害に屈することなく一丸となつて復旧にご協力くださいますようお願い申し上げます。

昭和39年7月7日豪雨被害概況表

(1) 人

区分	人員	摘要
ア.死者	1人	(沖布)藤田ミナ(75才)
イ.軽傷	5	
小計	6	

(2) 建物

	区分	棟数	世帯数	り災者数	被害金額(千円)
住家	ア.全壊	3	3	11	1,270
住家	イ.半壊	19	19	115	3,856
住家	ウ.流失	5	5	27	4,000
住家	エ.一部破損	36	36	198	7,211
住家	オ.床上浸水	242	242	1,331	12,111
住家	カ.床下浸水	3,051	3,058	16,781	61,020
非住家	キ.公共建物	11			5,174
非住家	ク.その他	106			2,140
小計		3,473	3,363	18,463	96,782

(3) 農地

	区分	面積(ha)	被害金額(千円)
田	ア.流埋	93	24,881
田	イ.欠壊	79	34,255
田	ウ.冠水土砂混入	536	61,932
畑	エ.流埋	53	11,414
畑	オ.欠壊	31	5,553
畑	カ.冠水土砂混入	125	18,645
山林原野		31	1,851
小計		948	158,531

(4) 土木施設

区分	数量		被害金額(千円)
ア.道路	39ヶ所	3.855m	147,445
イ.橋梁	33橋		178,193
ウ.堤防	138ヶ所	16.100	1,101,150
エ.砂防	35ヶ所		48,090
小計	245		1,474,824

(5) 農林施設

区分	数量	被害金額(千円)
ア.農業用施設	133ヶ所	155,540
イ.林業用施設	38ヶ所	150,150
ウ.水産業用施設	45ヶ所	2,700
小計	216	308,340

(6) 作物被害

区分	被害金額(千円)
ア.農産物	130,000
イ.水産物	9.820
ウ.林産物	17.500
小計	157,320

(7) その他

区分	数量	被害金額(千円)
ア.通信施設	回線 212	2.100
イ.上水道施設		11,652
ウ.し尿処理施設		6,347
小計		20,099

被害総額 2,215,896千円

公民館だより

七夕まつり 文芸作品入選作発表

七夕まつりを契機として、短歌、俳句、川柳、を募集した。応募作品数は一六九点であり、審査の結果次のように決つた。

短歌の部(五一点)

天 旭町 佐藤徳衛
ゆきづりにふと目をとめし親子づれ子供は父の義手をにぎりて

地 旭町 佐藤徳衛
にじみくるひたいの汗もぬぐわずに整備を終えし機械みつめる

人 栃尾郷病院 桐生一馬
病友の股間のボタンはめてやるしぐさ見つつもその日たのしき

佳作 上来伝 諸橋柳月
植え終り笑みをたたへて畦に立ち苗かごを解く臨月の嫁

佳作 檜原 上村栄信
泥沼と化せし田の稲起さむと差し出す父のその手ふるいて

佳作 岩神 三国善一郎
我も又機械の一部になり果てて生きゆく運命か朝な夕なを

佳作 金町 熊倉操子
川ぞえの小草が水に映す影静かなり今宵七夕の夜

佳作 金町 多田みき
湯を浴みて庭に下りたち仰ぐ空暗示の如く光る星あり

佳作 原 飯浜明美
赤き実の西瓜を買いて足はずむ残業の日に疲れておれども

佳作 山田 笠井柳雪
濁水の底に屈せる州の雑草枯れ伏す中に緑逞し

俳句の部

天位 栃堀 増沢十三吉
夏草を前に大鎌とぎにけり

地位 山田 笠井柳雪
挨浴び青鬼灯の太りけり

人位 菅畑 渡辺菊枝
緑側を子等にゆずりて星祭る

佳作 滝ノ下 林 嘉子
ガムかんで詩もなき夕べ梅雨に飽く

佳作 同人
生き耐へて生活楽し震災忌

佳作 金町 加藤みき
朝顔の手入れも楽し日曜日

佳作 一之渡戸 笠井幸男
夕焼にいまも変らぬ子守唄

佳作 岩神 品田長四郎
老ごぜは三味ひくばかり春うらな

佳作 同人
冠水の稲田に螢火一つ消え

佳作 東中野俣 小林仙次
蝉声の真只中で大休止

佳作 泉 中西 弘
ピンと張る浴衣の肩や踊衆

佳作 北荷頃 笹原嘉蔵
歴代の住持の墓や蝉しぐれ

川柳の部

天位 泉 中西 弘
帰省子に父の浴衣がツンツルテン

地位 岩神 三国善一郎
被災地え元陣笠のソツがない

人位 栃堀 増沢庭月
落ちそうなを首ささえて居眠りし

佳作 東町 上村武次
不景気でパパの晩酌チュウになり

佳作 東中野俣 小林仙次
眼で合図して運ばれる無駄な酒

佳作 岩神 三国善一郎
井戸水がある家ン子で餓鬼大将

佳作 山田 笠井柳雪
ボーナスもお手盛できず労働歌

佳作 上谷内 加藤春次
七、七栃尾織物名が知られ

なお、入選された応募者は早く栃尾市公民館から賞品を受取つてください。

心の故郷栃尾甚句 皆んな楽しく

栃尾市公民館、栃尾甚句保存会共催で、健康生活の向上と納涼を兼ねて盆踊りを八月十六日、十七日、二十六日、二十七日の四日間、栃尾小学校グラウンドで開催いたします 家族そろつて楽しくおどれるよう、もつか準備中でありますから、ご近所誘いあつて多数ご参加ください。

また、永い伝統にたつ「盆踊り」を育てるよう、市民のみなさまのご協力をお願いいたします。盆踊りの歌詞を正しく、よくおぼえてください

秋葉松風 吹く声さえて 町は総出の ヨサ 盆踊り

心素直に機織りや上手 踊る手振りは ヨサなお上手

踊りふかした ゆかたのしめり 松の露かや ヨサ 秋葉山

栃尾大倉 燃え立つつつじ つつじ火の花 ヨサ 恋の花

踊り 太コが 今宵もさそう 太コ荷頃か ヨサ 栃堀か

うたに織り込め 栃尾の女子 おさにひまない ヨサ 恋心

秋葉お山山のもみじをわけて しのぶ恋路の ヨサ七まがり

させや かんざし 入れれやカモジ 男泣かせの ヨサ なげ島田

あねさ天上見やれ 夜が明けそげだ 天の川原が ヨサ 西ひがし

アーヤ どんどこどんと 鳴る瀬はどこだ おくの深山の ヨサ滝のおと

太コたたきは死んだかね たか死にもしないし ヨサ ねもしない

足をふまれて泣いたは去年 今年や このこし ヨサこの手振り

おせやおせ おせ 下関までも おせばみなとが ヨサ 近くなる

ぬしの心と中村だけは 晴れてまもなくヨサ又くもる

お知らせ!!

◎佐渡研修旅行実施

栃尾中央青年学級では、市外研修旅行を通じ、見聞を広める。教養を高める。お互いが助けあい協力、規律の集団的精神を養う、学習意欲を高めよう、などの目的をもつて八月十五、十六日(一泊二日)のお盆休暇を利用して、佐渡研修旅行を計画し実施する参加者は十五名。

◎市内大野の山崎静止氏は永年 勤務の紺栄株式会社を去られるにあたり、青少年教育など社会教育の振興を祈念して公民館活動のために、金壱万円を寄附され、関係者から感謝されている。

◎ラジオ体操実施中

栃尾市公民館、栃尾小学校中学校、同校PTA共催で、夏季ラジオ体操を各町内を会場として、毎朝午前六時三十分よりラジオのリズムに合せ実施中であります。父兄の方の参加が少いようですが、出来るかぎり都合し参加するよう心掛けましょう。

〔ラジオ体操の一コマ〕